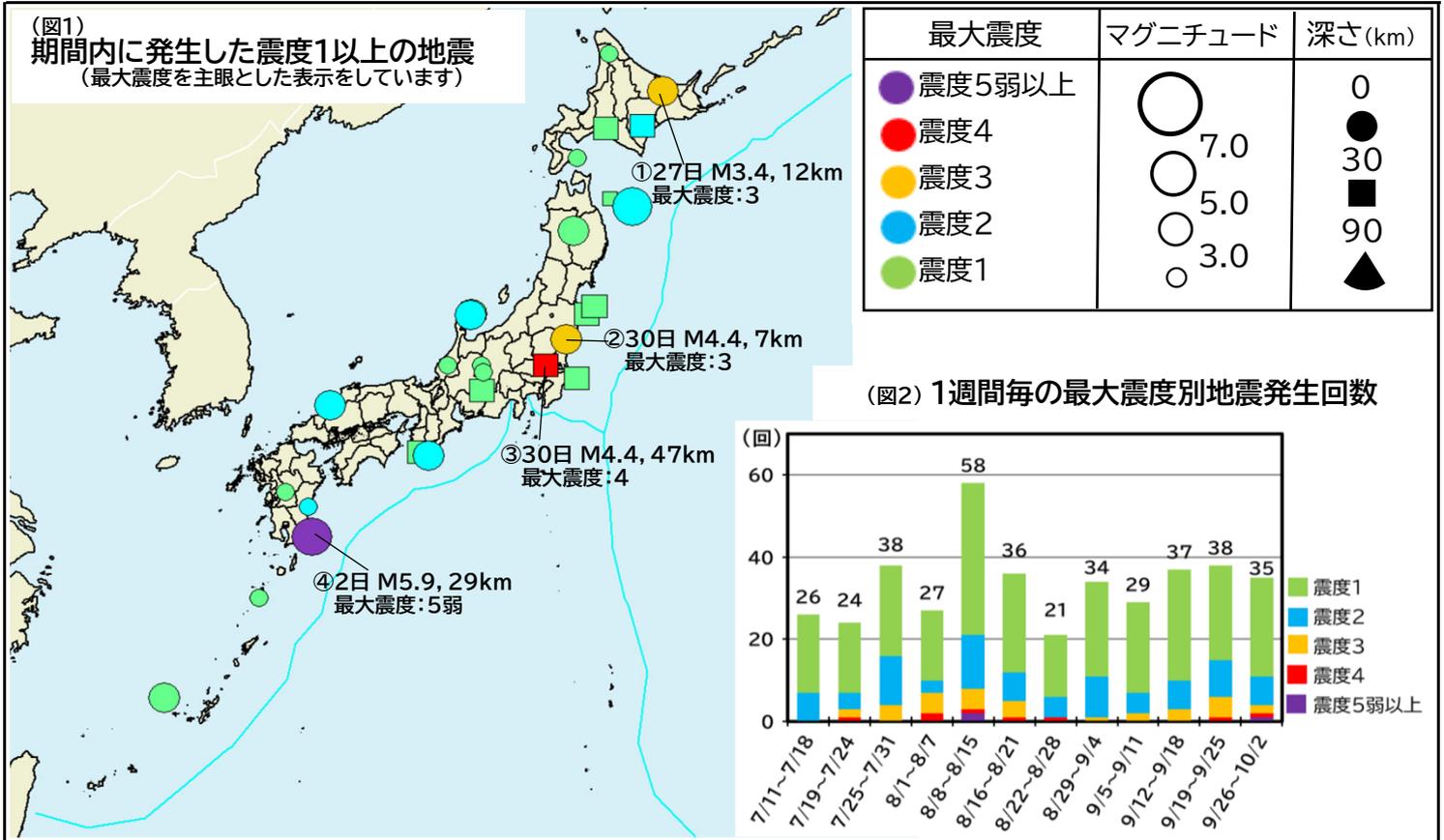


この期間の最大震度は5弱(大隅半島東方沖で発生した地震)

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が35回発生。最大震度は5弱(大隅半島東方沖で発生した地震)。■
- ① 27日05時02分に網走地方で発生した地震(M3. 4、深さ12km)により、北海道津別町で震度3を観測したほか、美幌町と北見市で震度2、訓子府町で震度1を観測を観測。この震源近傍の地震活動は低いが、1976年1月に一時的な活動があり、現地で体を感じる地震が数回あったとの報告もある。
- ② 30日00時03分に茨城県北部で発生した地震(M4. 4、深さ7km)により、福島県浅川町で震度3を観測したほか、宮城県から埼玉県にかけて震度2~1を観測。
- ③ 30日14時58分に茨城県南部で発生した地震(M4. 4、深さ47km)により、栃木県宇都宮市・栃木市・佐野市・下野市・壬生町および群馬県板倉町で震度4を観測したほか、福島県~静岡県にかけて震度3~1を観測。
- ④ 2日00時02分に大隅半島東方沖で発生した地震(M5. 9、深さ29km)により、宮崎県日南市で震度5弱を観測したほか、近畿地方から九州地方にかけて震度4~1を観測(トピックス参照)。

トピックス

- 日向灘から大隅半島東方沖にかけての地震活動 ■
- ・2日に大隅半島東方沖で発生した地震を含む日向灘から大隅半島東方沖にかけての海域は、M7クラスの地震が時々発生するなど活発な地震活動が見られ所(図3)で、揺れによる被害や津波による被害が繰り返し発生している。
- ・この地域で発生する地震は、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生するタイプの地震が多く、今回の地震も同様にフィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した逆断層型の地震。
- ・最近、この付近で最大震度5弱以上を観測したのは2019年5月にM6.3の地震により宮崎市などで震度5弱、今年1月にM6.6の地震により宮崎県と大分県で最大震度5強を観測している。
- ・この地域は、他の地域に比べて津波を伴う確率が大きく、M7.0以上の地震では100%津波が発生している。
- ・このことは、この地域で発生する地震は比較的震源の深さが浅いこと、地震発生のメカニズムに起因するものと考えられる。
- ・また、震源が陸地に近いため、地震動による災害も多く生じる傾向がある。
- ・一方、M8以上の巨大地震が発生したという記録はない。

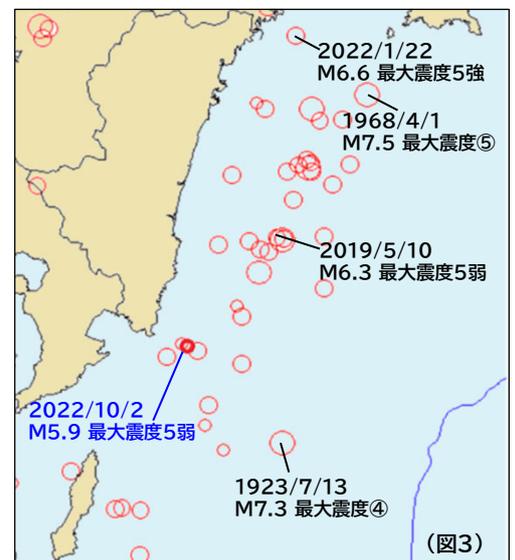


図3: 震央分布図  
1919年1月から2022年10月2日 M $\geq$ 5.9  
○囲みの最大震度は旧震度階級による震度